

2022. 11. 14

 **センコーグループホールディングス株式会社**

**2023年3月期  
第2四半期決算の概要**



## (1) 2023年3月期 第2四半期決算について

- ・ 対前年 340 億円増収、13.4 億円営業増益、14.2 億円経常増益。
- ・ 公表対比では、△22 億円減収、5.5 億円営業増益、7.8 億円経常増益。

## (2) 2023年3月期 業績予想、配当について

- ・ 業績予想、配当ともに5月公表通りの計画。

## (3) 中央化学株式会社に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせについて

**2023年3月期  
第2四半期決算の概要について**

# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績の概要



(百万円, %)

(参考)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前年同期比		増減額	
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率	4-6月期	7-9月期
売上高	300,762	—	334,804	—	34,041	11.3	17,242	16,799
営業利益	11,705	3.9	13,046	3.9	1,341	11.5	881	460
経常利益	11,964	4.0	13,381	4.0	1,416	11.8	1,052	364
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,955	2.3	7,983	2.4	1,027	14.8	747	280

## 2. 2023年3月期 第2四半期 業績の概要【売上高】



前年同期比 340億円増収 11.3%増

● 売上拡大効果	+	146億円
● M&A	+	181億円
● 料金・価格改定	+	5億円
● 既存物量増減	+	9億円

### 3. 2023年3月期 第2四半期 業績の概要【利益】

**SENKO**

前年同期比 経常利益 14.2 億円 増益 11.8%増

● 売上拡大効果	+	17.8 億円		
● M&A	+	5.0 億円		
● 料金・価格改定	+	5.3 億円	➡	+ 38.8 億円
● コスト改善・生産性向上	+	6.7 億円		
● 既存物量増減	+	4.0 億円		
● 電力コスト影響	△	6.5 億円		
● 燃料単価影響	△	5.8 億円		
● ベア影響	△	5.8 億円	➡	△ 25.4 億円
● 経費復元	△	3.1 億円		
● 備車費・作業賃単価アップ影響	△	2.1 億円		
● その他コスト増減	△	2.1 億円		
● 営業利益			➡	+ 13.4 億円
● 営業外収支			➡	+ 0.8 億円
● 経常利益			➡	+ 14.2 億円

## 4. 2023年3月期 第2四半期 分野別売上高の概要



※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %)

	2022年3月期 第2四半期 (前期)	2023年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比		前年同期比 内訳				
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A	物量増減 他	
物 流 事 業	食 品 物 流	408	442	33	8.2	25		3	6
	チェーンストア物流	414	456	41	10.0	19		18	4
	ファッション物流	242	255	13	5.4	31		-	△ 18
	そ の 他 物 流	167	245	77	46.3	16		50	11
	流通ロジスティクス	1,232	1,398	166	13.4	92	1	71	3
	住 宅 物 流	300	308	8	2.7	10	3	-	△ 5
	ケミカル物流	402	453	51	12.6	16	2	14	18
	そ の 他 物 流 等	192	208	16	8.2	20		2	△ 6
物 流 事 業	2,126	2,366	240	11.3	138	5	87	10	
商 事 ・ 貿 易 事 業	716	773	57	8.0	7	-	68	△ 18	
ラ イ フ サ ポ ー ト 事 業	130	161	31	24.0	-	-	17	14	
ビ ジ ネ ス サ ポ ー ト 事 業	36	48	12	33.5	1	-	9	2	
合 計	3,008	3,348	340	11.3	146	5	181	8	

※上記に含む国際関係売上

物 流 事 業	176	315	138	78.3
商 事 ・ 貿 易 事 業	154	143	△ 11	△ 7.4
国 際 関 係 売 上	331	457	127	38.3
売 上 高 構 成 比 ( % )	11.0%	13.7%		

※顧客ならびに新規連結会社の業容を再精査し、分類先を見直しております。

## 5. 2023年3月期 第2四半期

## セグメント別業績の概要①



### (1) 物流事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

	2022年3月期 第2四半期 (前期)	2023年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高				
国内物流	1,586.2	1,640.4	54.2	3.4
冷凍冷蔵物流	287.1	313.8	26.7	9.3
国際物流	138.9	269.8	130.9	94.2
海運	113.5	142.0	28.5	25.1
計	2,125.7	2,365.9	240.2	11.3
営業利益	111.2	123.9	12.7	11.4
営業利益率	5.2	5.2		

#### ▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
売上拡大効果	138	17.4
M&A	87	4.5
料金・価格改定	5	5.3
既存物量増減	10	1.1
コスト改善・生産性向上		5.9
電力コスト影響		△ 6.2
燃料単価影響		△ 5.8
ペア影響		△ 5.8
その他増減		△ 3.7
計	240	12.7

経済社会活動の正常化の動きに伴う物量の回復が見られる中、電気料金ならびに燃料価格の上昇などがありましたが、拡販ならびに料金改定に取り組むと共に、M & Aの収益寄与があったことなどにより、増収増益。

## 6. 2023年3月期 第2四半期

## セグメント別業績の概要②



### (2) 商事・貿易事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

	2022年3月期 第2四半期 (前期)	2023年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高				
商事販売	222.1	219.3	△ 2.8	△ 1.3
家庭紙卸	403.5	466.8	63.3	15.7
貿易	90.5	87.1	△ 3.4	△ 3.8
計	716.2	773.3	57.1	8.0
営業利益	11.2	10.2	△ 1.0	△ 8.5
営業利益率	1.6	1.3	△ 0.3	

#### ▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	68	△ 0.2
コスト改善・生産性向上		0.8
価格改定	28	27.7
仕入れ価格影響		△ 25.9
為替影響		△ 3.0
その他増減	△ 39	△ 0.4
計	57	△ 1.0

前期に連結子会社化した家庭紙卸売の(株)カルタスの収益寄与があったことに加え、価格改定ならびに拡販、コスト改善などに努めましたが、テイクアウト・デリバリーに使用する包材需要の減少や、仕入価格の上昇などがあり、増収減益。

## 7. 2023年3月期 第2四半期

## セグメント別業績の概要③



### (3) ライフサポート事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

	2022年3月期 第2四半期 (前期)	2023年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	129.5	160.6	31.1	24.0
営業利益	△ 5.2	△ 0.1	5.2	-
営業利益率	△ 4.0	△ 0.0	4.0	

#### ▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	17	1.8
拡販・既存増減他	14	3.4
計	31	5.2

日常生活の正常化の動きに伴う利用者数・来店者数の回復と、新規出店ならびに前期に実施したM & Aの収益寄与があったことなどにより、増収増益。

## 8. 2023年3月期 第2四半期

## セグメント別業績の概要④



### (4) ビジネスサポート事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

	2022年3月期 第2四半期 (前期)	2023年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	36.1	48.2	12.1	33.5
営業利益	4.5	4.6	0.1	2.9
営業利益率	12.4	9.6	△ 2.8	

#### ▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	9	0.4
その他増減	3	△ 0.3
計	12	0.1

M&Aの収益寄与があったことなどにより、増収増益。

## 9. 2023年3月期 業績の概要【対計画】



(百万円, %)

	2023年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		計画比	
	計画 (5月公表)	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	337,000	—	334,804	—	△ 2,196	△ 0.7
営業利益	12,500	3.7	13,046	3.9	546	4.4
経常利益	12,600	3.7	13,381	4.0	781	6.2
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,500	2.2	7,983	2.4	483	6.4

# 10. 対5月公表 差異要因【対計画】



(億円)

	2023年3月期 第2四半期 計画 (5月公表)		2023年3月期 第2四半期 実績		計画比 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上拡大効果	139	17.4	146	17.8	6	0.4
M & A	176	2.7	181	5.0	5	2.3
料金・価格改定	5	4.5	5	5.3	1	0.8
コスト改善・生産性向上		4.0		6.7		2.7
既存物量増減	43	3.2	9	4.0	△ 34	0.8
電力コスト影響		△ 0.5		△ 6.5		△ 6.0
燃料単価影響		△ 7.0		△ 5.8		1.2
ベア影響		△ 6.0		△ 5.8		0.2
経費還元		△ 4.2		△ 3.1		1.1
備車・作業賃単価アップ影響		△ 2.3		△ 2.1		0.2
その他コスト増減		△ 3.9		△ 2.1		1.8
計	362	7.9	340	13.4	△ 22	5.5

内、商事・貿易△47/△2.1

※商事仕入れ為替影響：(当初) その他コスト増減→(今回) 既存物量増減

# 1 1. 2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表



(億円)

資産の部			負債・純資産の部		
科目	増減	摘要	科目	増減	摘要
<b>流動資産合計</b>			<b>流動負債合計</b>		
1,873.7	163.4		1,211.3	△ 165.1	
現金及び預金	213.0		支払手形及び営業未払金	△ 38.1	
受取手形、営業未収入金及び契約資産	△ 54.8		短期借入金	△ 130.6	
その他	5.3		その他	3.6	
<b>固定資産合計</b>			<b>固定負債合計</b>		
3,256.5	158.6		2,216.3	393.2	
有形固定資産※		※主な設備投資	長期借入金	372.5	
建物及び構築物	29.3	湾岸弥富PDセンター	その他	20.7	
土地	25.6	京葉PDセンター	<b>負債合計</b>	<b>228.0</b>	
その他	54.7	新小牧第2PDセンター	<b>純資産合計</b>	<b>94.0</b>	
無形固定資産	9.1		資本金	284.8	
投資その他の資産	40.0		資本剰余金	314.5	△ 1.0
<b>繰延資産合計</b>			利益剰余金	971.7	54.4
0.0	0.0		自己株式	△ 80.1	1.5
<b>資産合計</b>			非支配株主持分他	211.6	39.1
5,130.2	322.1		<b>負債及び純資産合計</b>		
			5,130.2	322.1	

※自己資本比率  
(前期末) 30.5%  
(当期末) 30.3%

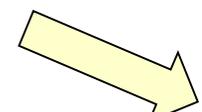
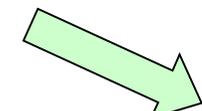
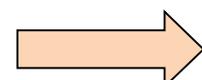
有利子負債	2,093.4	241.5	※ネットD/Eレシオ (前期末) 0.95倍 (当期末) 0.92倍
-------	---------	-------	--

# 1 2. 2023年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)

	2022年3月期 第2四半期 (前期)	2023年3月期 第2四半期 (当期)
営業活動による キャッシュ・フロー	121.7	212.5
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 218.5	△ 178.4
財務活動による キャッシュ・フロー	82.6	172.7
現金及び現金同等物の 四半期末残高	491.3	638.6



当期の主な内容

税金等調整前四半期純利益	134.2
減価償却費	107.3
売上債権及び契約資産の減少	70.2
棚卸資産の増加	△ 10.1
未払債務の減少	△ 43.3
法人税等の支払額	△ 50.7
等	

有形固定資産の取得	△ 138.0
子会社株式の取得	△ 40.5
等	

借入金の増加	231.3
リース債務の返済	△ 30.3
配当金の支払	△ 25.4
等	

# 2023年3月期 通期業績予想

# 1. 2023年3月期 業績予想【通期】



(百万円)

	今回公表 年間	対5月公表 増減		前年同期比 増減		
		上期	下期	上期	下期	年間
売上高	700,000	△ 2,196	2,196	34,041	42,820	76,861
営業利益	26,700	546	△ 546	1,341	588	1,929
経常利益	27,000	781	△ 781	1,416	△ 519	897
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,000	483	△ 483	1,027	△ 260	767

## 2. 2023年3月期 業績予想【対5月公表 差異要因】



(億円)

	対5月公表比 増減額 上期		対5月公表比 増減額 下期		対5月公表比 増減額 年間	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上拡大効果	6	0.4	31	2.9	38	3.3
M & A	5	2.3	△ 15	0.1	△ 10	2.4
料金・価格改定	1	0.8	2	2.0	3	2.8
コスト改善・生産性向上		2.7		0.6		3.3
既存物量増減	△ 34	0.8	4	△ 3.4	△ 30	△ 2.6
電力コスト影響		△ 6.0		△ 6.9		△ 12.9
燃料単価影響		1.2		1.7		2.9
ベア・人事制度改革影響		0.2				0.2
経費復元		1.1		△ 0.4		0.7
備車・作業賃単価アップ影響		0.2		△ 0.6		△ 0.4
その他コスト増減		1.8		△ 1.5		0.3
計	△ 22	5.5	22	△ 5.5		

内、商事・貿易△52/△4.8

※商事仕入れ為替影響：（当初）その他コスト増減→（今回）既存物量増減

### 3. 2023年3月期 業績予想【上・下の対前年増減要因】 **SENKO**

(億円)

	上期 (実績)		下期 (計画)		年間 (計画)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上拡大効果	146	17.8	195	20.8	341	38.6
M & A	181	5.0	176	1.5	357	6.5
料金・価格改定	5	5.3	7	7.4	13	12.7
コスト改善・生産性向上		6.7		5.4		12.1
既存物量増減	9	4.0	50	△ 0.1	59	3.9
電力コスト影響		△ 6.5		△ 7.4		△ 13.9
燃料単価影響		△ 5.8				△ 5.8
ベア・人事制度改革影響		△ 5.8		△ 9.2		△ 15.0
経費還元		△ 3.1		△ 3.6		△ 6.7
備車・作業賃単価アップ影響		△ 2.1		△ 3.1		△ 5.2
その他コスト増減		△ 2.1		△ 5.8		△ 7.9
計	340	13.4	428	5.9	769	19.3

+73.8

△54.5

※商事仕入れ為替影響：(当初) その他コスト増減→(今回) 既存物量増減

営業外収支差		0.8		△ 11.1		△ 10.3
経常利益		14.2		△ 5.2		9.0

## 4. セグメント別業績予想の概要（1）



### （1）物流事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

（億円，%，PT）

		2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
		(実績)	(計画)	増減	増減率
売上高	国内物流	3,216.9	3,374.3	157.3	4.9
	冷凍冷蔵物流	582.3	624.2	41.9	7.2
	国際物流	365.8	548.9	183.1	50.1
	海運	240.6	295.5	54.9	22.8
	計	4,405.6	4,842.9	437.3	9.9
営業利益		238.1	252.2	14.1	5.9
営業利益率		5.4	5.2		

#### ▼主な増減要因

	前年同期比増減	
	売上高	営業利益
売上拡大効果	305	36.9
M&A	122	6.7
料金・価格改定	13	12.7
コスト改善・生産性向上		10.4
ベア・人事制度改革影響		△ 15.0
電力コスト影響		△ 13.0
燃料単価影響		△ 5.8
傭車・作業賃単価アップ影響		△ 5.2
経費復元		△ 3.1
既存物量増減	△ 3	△ 1.0
その他コスト増減		6.5
新セグメント会計基準精査※		△ 3.1
計	437	14.1

※当年度よりセグメント会計基準を変更しているが、

当初（5月）業績予想策定段階での費用仕訳を  
今回再精査し、是正した額。

## 5. セグメント別業績予想の概要（2）



### （2）商事・貿易事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

		2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)	前年同期比	
				増減	増減率
売 上	商事販売	455.4	498.4	43.0	9.4
	家庭紙卸	818.0	970.0	152.0	18.6
	貿易	187.9	194.1	6.2	3.3
	計	1,461.3	1,662.5	201.2	13.8
営業利益		24.8	24.4	△ 0.4	△ 1.6
営業利益率		1.7	1.5	△ 0.2	

#### ▼主な増減要因

	前年同期比 増減	
	売上高	営業利益
M&A	144	△ 0.5
コスト改善・生産性向上		1.7
価格改定	39	39.3
仕入れ価格影響		△ 33.5
為替影響		△ 9.1
その他増減	18	2.0
新セグメント会計基準精査※		△ 0.3
計	201	△ 0.4

※当年度よりセグメント会計基準を変更しているが、当初（5月）業績予想策定段階での費用仕訳を今回再精査し、是正した額。

## 6. セグメント別業績予想の概要（3）



### （3）ライフサポート事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	(実績)	(計画)	増減	増減率
売上高	288.0	392.7	104.7	36.4
営業利益	△ 6.8	0.9	7.7	-
営業利益率	△ 2.4	0.2	2.6	

#### ▼主な増減要因

	前年同期比 増減	
	売上高	営業利益
M&A	74	1.9
拡販・既存増減他	30	5.9
新セグメント会計基準精査※		△ 0.1
計	105	7.7

※当年度よりセグメント会計基準を変更しているが、当初（5月）業績予想策定段階での費用仕訳を今回再精査し、是正した額。

## 7. セグメント別業績予想の概要（4）



### （4）ビジネスサポート事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	(実績)	(計画)	増減	増減率
売上高	76.5	101.9	25.4	33.2
営業利益	6.4	10.3	3.9	60.9
営業利益率	8.4	10.1	1.7	

#### ▼主な増減要因

	前年同期比 増減	
	売上高	営業利益
M&A	16	0.7
その他増減	9	0.1
新セグメント会計基準精査※		3.1
計	25	3.9

※当年度よりセグメント会計基準を変更しているが、当初（5月）業績予想策定段階での費用仕訳を今回再精査し、是正した額。

## 8. セグメント別業績予想【対5月公表差異要因】



(億円)

		5月公表 年間	今回公表 年間	対5月公表増減		
				新セグメント 会計基準精査 <sup>※</sup>	実質 増減	計
物流 事業	売上高	4,785.4	4,842.9		57.5	57.5
	営業利益	251.1	252.2	△ 3.1	4.3	1.2
商事・貿易 事業	売上高	1,712.0	1,662.5		△ 49.5	△ 49.5
	営業利益	26.6	24.4	△ 0.3	△ 2.0	△ 2.3
ライフサポート 事業	売上高	408.8	392.7		△ 16.1	△ 16.1
	営業利益	2.8	0.9	△ 0.1	△ 1.8	△ 1.9
ビジネスサポート 事業	売上高	93.8	101.9		8.1	8.1
	営業利益	5.1	10.3	3.1	2.1	5.2
調整額	売上高					
	営業利益	△ 18.6	△ 20.8	0.4	△ 2.6	△ 2.2
計	売上高	7,000.0	7,000.0			
	営業利益	267.0	267.0			

※当年度よりセグメント会計基準を変更しているが、当初（5月）業績予想策定段階での費用仕訳を、今回再精査し、是正した額。

## 9. 2023年3月期 分野別売上高予想【通期】

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %)

	2022年3月期 (前期)	2023年3月期 (当期)	前年同期比		前年同期比 内訳			
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A	物量増減 他
食品物流	822	874	51	6.3	41		3	7
チェーンストア物流	837	943	106	12.7	66	1	47	△ 8
ファッション物流	495	536	41	8.3	71	2	—	△ 31
その他物流	398	497	99	24.9	30	1	50	19
流通ロジスティクス	2,552	2,850	298	11.7	208	3	100	△ 13
住宅物流	617	636	18	3.0	21	5	—	△ 7
ケミカル物流	848	943	95	11.2	40	3	20	31
その他物流等	388	414	26	6.7	36	1	2	△ 13
物流事業	4,406	4,843	437	9.9	305	13	122	△ 2
商事・貿易事業	1,461	1,662	201	13.8	30	—	144	27
ライフサポート事業	288	393	105	36.3	—	—	74	30
ビジネスサポート事業	76	102	25	33.2	5	—	16	4
合計	6,231	7,000	769	12.3	341	13	357	59

※上記に含む国際関係売上

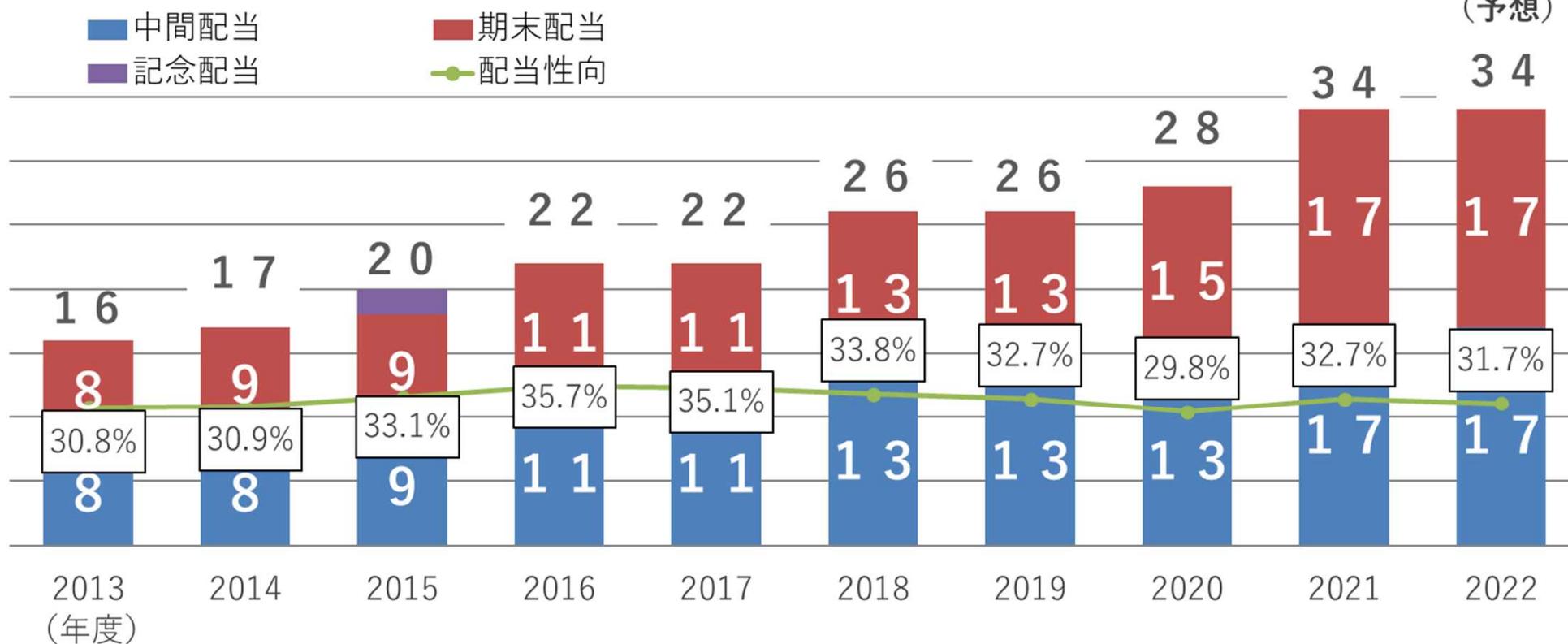
物流事業	436	625	189	43.4
商事・貿易事業	321	320	△ 1	△ 0.2
国際関係売上	756	945	188	24.9
売上高構成比 (%)	12.1%	13.5%		

※顧客ならびに新規連結会社の業容を再精査し、分類先を見直しております。

# 10. 配当金について



1株あたり配当金（円/株）と配当性向の推移



# 1 1. 2023年3月期の設備投資計画



## ① 設備投資計画 (百万円)

	2023年3月期 (計画)
連結	34,573

※設備保証金含む

## ■ 設備投資額 (計画) の内訳 (百万円)

	2023年3月期 一般設備投資額 (計画)				合計
	車両関係	荷役機器・ その他生産設備	大型設備	非生産設備 (EDP関連他)	
連結	5,878	5,007	21,879	1,809	34,573

## ② 減価償却費 (百万円)

	2023年3月期 (計画)
連結	21,851

**2023年3月期  
主な事業活動について**

# 1. 本年度稼働の物流センター

## 上期稼働の大型拠点

拠点名	所在地	稼働日	延床面積	取扱品例	備考
①泉南PDセンター	大阪府泉南市	2022年 3月	33,955 m <sup>2</sup>	アパレルメーカー様他	自社開発
②さいたまPDセンター	埼玉県さいたま市	2022年 4月	27,047 m <sup>2</sup>	EC事業者様専用センター	自社開発
③仙台北PDセンター	宮城県利府町	2022年 4月	21,752 m <sup>2</sup>	ドラッグストア様・量販店様他	賃借倉庫
④葛西第2PDセンター	東京都江戸川区	2022年 5月	19,923 m <sup>2</sup>	医療機器関連・食品関連他	賃借倉庫
⑤アクロストラnsポート札幌センター	北海道北広島市	2022年 7月	13,197 m <sup>2</sup>	アパレルメーカー様	賃借倉庫
⑥綾瀬ロジスティクスセンター	神奈川県綾瀬市	2022年 8月	53,800 m <sup>2</sup>	ドラッグストア様専用センター	賃借倉庫

## 下期稼働予定の大型拠点

### 北神戸PDセンター

所在地	兵庫県神戸市
稼働日	2022年12月
延床面積	18,275 m <sup>2</sup> (賃借倉庫)
取扱品例	住宅設備機器メーカー様 他



### 京葉PDセンター

所在地	千葉県市原市
稼働日	2023年1月
延床面積	29,509 m <sup>2</sup>
取扱品例	樹脂石化メーカー様 他



## 2. M&Aの推進状況



	会社名	事業内容	連結時期 (P/L)
物 流 事 業	Air Road	オーストラリア国内 貨物自動車運送事業/倉庫業	2021年10月～
	Air Planners	シンガポール拠点 国際航空・海上輸送	2022年 7月～
商 事 ・ 貿 易 事 業	(株)カルタス	家庭紙卸売業	2022年 4月～
ラ イ フ サ ポ ー ト 事 業	ダイヤクリーニング(株)	クリーニング事業 コインランドリー事業	2022年 1月～
	(株)COSPAウエルネス (旧：(株)オージースポーツ)	フィットネス事業	2022年10月～
ビ ジ ネ ス サ ポ ー ト 事 業	(株)セルフ・グロウ	外国人人材派遣事業 技能実習生の監理・研修事業	2022年 1月～
	Kyoudou Project(株)	外国人人材派遣事業	2022年 7月～

## 2-1. M&A 物流事業

**SENKO**



### エアプランナーズの概要

- 本社所在地 : シンガポール共和国
- 代表者 : Wang Heng Kai
- 資本金 : 100,000シンガポールドル  
(約8.5百万円)
- 設立 : 2013年8月28日
- 事業内容 : 国際航空・海上輸送事業、航空貨物代理店事業
- 事業所数 : 17カ所 (協力会社含む)
- 従業員数 : 22名 (2022年1月1日時点)

## 2-2. M&A 商事・貿易事業

# SENKO

### CARTAS Co.,Ltd.

### (株)カルタスの概要



- 本社所在地 : 東京都中央区箱崎町4-1-12  
代表者 : 小澤 茂  
資本金 : 121百万円  
設立 : 1953年2月25日  
事業内容 : 家庭紙・日用雑貨の卸売業、物流受託事業、  
自社商品の製造企画・販売  
事業所数 : 13カ所  
(本社、名古屋営業所、物流センター 11カ所)  
従業員数 : 139名 (2022年9月末時点)

## 2-3. M&A ライフサポート事業（1）

# SENKO

 株式会社COSPAウエルネス

(株)COSPAウエルネス（旧オージースポーツ）の概要



- 本社所在地 : 大阪府大阪市中央区備後町3-6-14  
代表者 : 大友 康彰  
設立 : 1981年8月4日  
事業概要 : フィットネスクラブ・テニスクラブ等の経営  
およびスポーツ施設の運営受託、  
各種スポーツ・健康教室の経営・運営、  
各種スポーツ大会・イベントの開催運営、  
『健康づくり』等の各種講演開催・講師派遣、  
スポーツ用具・用品の販売
- 店舗数 : フィットネス 23店、テニススクール 7店、  
24Hジム 19店、  
高地トレーニングスタジオ 3店、  
運営受託施設 9ヶ所
- 従業員数 : 319名（2022年7月末時点）  
会員数 : 90,637名

## 2-4. ライフサポート事業（2）出店計画



### ■ 2022年度 出店実績／計画

2022年9月現在の実績／計画

		2022.3月末 店舗数	2022.9月末 店舗数	2023.3月末 店舗数 (計画)	上期 店舗増減 (実績)	下期 店舗増減 (計画)	年間計 店舗増減 (計画)
ケアテラス(株)		9	11	11	2		2
(株)ブルーアース		20	20	22		2	2
(株)ビーナス		78	83	90	5	7	12
(株)ライフイト (すし丸)		26	26	26			
(株)プロケア	保育園	31	34	34	3		3
	学童クラブ	21	22	22	1		1
寺内(株)	会員制 卸小売事業	5	5	5			
	一般 小売事業	26	26	26			
ダイヤクリーニング(株)		199	197	197	-2		-2
(株)COSPAウエルネス		※1 52	51	52	-1	1	

※1：7月末時点の店舗数。

## 2-5. M&A ビジネスサポート事業

**SENKO**



### Kyoudou Project(株)の概要

- 本社所在地 : 茨城県龍ヶ崎市愛戸町4 3 番地 1
- 代表者 : 波田野 ダニエル
- 資本金 : 3 百万円
- 設立 : 2 0 1 3 年 1 2 月 1 1 日
- 事業内容 : 労働者派遣事業、有料職業紹介事業、  
不動産賃貸事業
- 従業員数 : 2 8 0 名 (2 0 2 2 年 9 月 末 時 点)



### 3. 環境への取り組み

## 『第23回物流環境大賞』で3件受賞

### ◆特別賞（センコー(株)）

物流拠点の移転による、  
トラック走行距離短縮／中継輸送導入によるドライバー労働時間削減

### ◆特別賞（センコー(株)、埼玉南センコーロジ(株)）

東西拠点間幹線の鉄道利用によるモーダルシフトにより、  
CO<sub>2</sub>削減およびドライバーの負担軽減を達成

### ◆特別賞（(株)ランテック）

車両大型化と鉄道コンテナへのモーダルシフトにより、  
CO<sub>2</sub>削減とドライバーの負担軽減を実現



## 4. ESG+Hへの取り組み

SENKO

### 当社が選定されているESGインデックス

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

※MSCI指数への組入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関連会社によるセンコーグループホールディングス株式会社の後援、保証、販売促進ではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI及びその指数の名称とロゴは、MSCIやその関連会社の商標またはサービスマークです。

## 「健康経営優良法人2022 ホワイト500」に5年連続認定

～大規模法人部門で3社 中小規模法人部門で9社認定～



# 中央化学株式会社に対する公開買付けの 開始予定に関するお知らせについて

# 1. 中央化学株式会社の概要

**SENKO**

## ①食品包装容器メーカー

- ・ 多彩な食品包装容器を取り揃え
- ・ 環境配慮型の製品を拡充



## ②東京証券取引所（スタンダード市場）に上場

## ③三菱商事(株)の連結子会社（議決権所有割合60.58%）

## 2. 本件の概要（予定）

**SENKO**

当社が、2回の公開買付けにより、中央化学(株)の全株式を取得。  
第一回公開買付けでは、親会社である三菱商事(株)から、市場価格より低い価格での買取りを実施。  
第二回公開買付けでは、一般株主から、市場価格より高い価格での買取りを実施。

第一回公開買付け期間：2022年11月15日～2022年12月13日。

第二回公開買付け期間：2022年12月21日～2023年2月7日。

尚、三菱商事(株)は、40%を再出資する。

### 3. 本件の目的と当社グループとのシナジー

**SENKO**

- ◎ サプライチェーンの中心に位置する  
物流の強みを生かして、川上（製造）や川下（販売）でも  
新しい価値を生み出し、人々の生活全般を支援することで、  
当社グループの企業価値を高めていくため。

（当社グループとのシナジー）

- ① 物流機能の向上・効率化
- ② 営業の連携強化
- ③ 生産性の向上

## 会社勢力（2022年9月30日現在）



グループ会社数 (非連結18社含む)	物流事業	114 社
	商事・貿易事業	20 社
	ライフサポート事業	12 社
	ビジネスサポート事業	17 社
	合 計	163 社
グループ車両台数	(ヘッドのみ)	6,613 台
	(トレーラー含む)	8,147 台
所有船舶数	(社船)	40 隻
支配下船舶数	(社船含む)	77 隻
総保管面積	(雑倉庫等含む)	419 万m <sup>2</sup>
グループ従業員数	(パート等除く)	21,503 人

**SENKO**

# Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。